



となん

【学校教育目標】

- [知] 自ら学ぶ意欲を持つ生徒
- [徳] 豊かな心を持つ生徒
- [体] 健康でねばり強い生徒



さきやまようしょう

発行者：校長 崎山 用彰

【学校経営目標】

【目指す生徒像】

よりよい未来の創造と自己実現を目指し
学び活動する生徒の育成

☆下中だより「となん」は、
学校HPから閲覧可能→



生徒総会にも触れた言葉……

『『どうせ無理』の壁を壊し、 よりよい未来への扉を開こう!』⑪

今回は、「学校朝会の校長講話」風に、みだしのことをまとめてみましたので、ご一読ください。

皆さん、「おはようございます。」

さて、今日は皆さんに、一つの言葉について一緒に考えてほしいと思っています。それは、生徒総会の時にも触れた「どうせ無理」という言葉です。



この言葉、最近よく耳にしたり、あるいは自分自身がつい口にしてしまったりすることはありませんか? 「次のテスト、どうせ無理だよ」「あの部活でレギュラーなんて、どうせ無理」「〇〇高校に合格するなんて、どうせ無理」など……。心当たりがある人もいるかもしれませんね。

でも、少し立ち止まって考えてみてください。この「どうせ無理」という言葉、口にした瞬間、皆さんの心の中にどんな変化が起きるのでしょうか。なんだか、挑戦する前から諦めてしまう気持ちになりませんか?

まるで、自分自身で大きな壁を作って、その先に進むことをやめてしまうような感覚。そう、この言葉は、皆さんが持っているはずの素晴らしい可能性に、自分で蓋をしてしまう呪いの言葉のようなものなのです。そして、この言葉を使い続けると、だんだんと自信を失い、「自分には何もできないのではないか」と、自己肯定感まで下がってしまうことにも繋がりがかねません。

特に中学生の皆さんは、心も体も大きく成長する時期。いろんなことに敏感で、周り自分を比べて焦ったり、不安になったりすることも多いと思います。そんな時、つい「どうせ無理」という言葉が、心の隙間に入り込んできやすいのかもしれません。

でも皆さん、この宮古島には、昔から伝わる素晴らしい言葉があります。それは、「アララガマ」という言葉です。この言葉の意味を知っていますか?

「なにくそ、負けるものか」「どんな困難にも屈しないぞ」という、不屈の精神、強い心意気を表す言葉です。

私は、この「アララガマ精神」こそ、「どうせ無理」という壁を打ち破るための、強力な武器になると思っています。「無理かもしれない」と感じた時、一度立ち止まって、この「アララガマ(精神)」という言葉思い出してみてください。

ところで、皆さんは、初めて自転車に乗ることのできた時のことを覚えていますか? 最初は何度も転んで、「どうせ無理だ」と思ったかもしれません。



でも、諦めずに練習を続けたから、いつの間にかスイスイと乗れるようになったはずですよ。

あるいは、初めて泳げるようになった時のこと。水を怖がって「無理だ」と思ったかもしれません。でも、勇気を出して水に顔をつけ、手足を動かす練習をしたから、水に浮き、前に進めるようになったはずですよ。それらは全て、皆さんが「どうせ無理」の壁を乗り越えてきた証なのです。

皆さんの身の回り、この私たちの愛する宮古島にも、「どうせ無理」という巨大な壁に立ち向かい、それを打ち破ってきた人々の、壮大な挑戦の物語がいくつも刻まれていることを知っていますか?

例えば、与那覇湾からも見える、あの美しい伊良部大橋。今では、伊良部島と宮古本島を結び、私たちの生活を豊かにしてくれる、なくてはならない存在です。しかし、あの広大な海の上に、あれほど長く立派な橋を架けることは、決して簡単なことではありませんでした。



→次号②に続きます。